

令和元年度 明石市地域自立支援協議会

くらし部会 レポート Vol.33 令和2年1月7日

発行元：明石市地域自立支援協議会 くらし部会事務局（明石市基幹相談支援センター）

住所：明石市貴崎 1 丁目 5 番 13 号（明石市立総合福祉センター 1 階）

電話番号 078-923-9155 ファクシミリ 078-923-9156

【意見投稿用アドレス】 akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています。

新年あけましておめでとうございます。

今号では、昨年 11 月 14 日（木）に開催致しました、令和元年度 障害福祉サービス等従事者向け精神保健福祉研修について、本多伊佐子さん（明石市役所 障害福祉課）にご報告頂きます。

講義1「当事者理解」

この講義では、「ピアポの会」より芝田さん、馬場さんが登壇され、リカバリーストーリーをお話していただきました。体調不良により欠席された田中さんについては、ピアスペース西明石職員の甲斐さんがメッセージを代読。田中さんは現在はデイケアや作業所に通いながら日常生活を送られていますが、支援者に対し



て合理的配慮を希望され、8050問題にも関心を持たれており、新しくできた「引きこもり支援課」に相談くださいとお声掛けをしてくださいました。芝田さんは学生時代に調子を崩され、再発を繰り返しながらも、わかものサポートセンターやハローワークなどを利用し、現在は老人ホームで勤務されているそうです。馬場さんは職場でのいじめをきっかけに発病し、様々な症状に悩まされながらも、就労継続支援 B 型に通所を続けておられます。3人共「ピアポの会」に参加され、メンバーや職員に話を聞いてもらうこと、家族が見守ってくれていたことなどで元気になるきっかけをもらえたそうです。また具合が悪く休んでいる時の周りの声掛けや対応が活動のきっかけになったと話され、あらためて支援する側の心配りに注意をしなければならないと思いました。

受講者の感想（抜粋）

- ・リカバリーストーリーを聴き、過去にどのようなきっかけがあったかなど、いろんな視点から知るよい機会となった。まずは自分自身が社会資源を広げていく事が大切だと感じた。
- ・症状を受けとめ生きている強さがとても素敵だと感じました。
- ・リカバリーストーリーを聞いて立ち直れる事を知れたのは良い経験になったと思う。事例を知っているのと知らないのとでは違い、声掛け時の引き出しを有効活用できると思った。



講義2 「精神疾患の理解～地域で支える心構え～」

関西青少年サナトリュームの西村暢宏先生より、精神疾患の基礎理解に関してわかりやすく講義をしていただきました。統合失調症を中心に具体的な症例を挙げられて、医療と福祉が連携して、本人のニーズに合った支援をしていく方法をお話頂きました。また、昨今精神障害者による事件が起きている中で、必ずしも障害者の犯罪率が高くないことや、病識のない方や地域で迷惑行為のあった方への対応も具体的にお話いただき、「患者さんを『治す』という意識を捨て、自然治癒力を信頼していく」という先生のお言葉に感銘を受けました。受講者のアンケートでも、症例を交えたお話がわかりやすく、精神障害者との関わり方の参考になったという意見が多かったです。



受講者の感想（抜粋）

- ・統合失調症についてとてもわかりやすく説明してもらい今後の支援の方法なども考える事ができた。
- ・この職に就き基礎的な知識が足りず不安であったが、理解しやすく、またわかりやすく資料がまとめられていて今後活用できると感じた。
- ・その人の話に耳を傾けること。望みを聴く。まさしくアセスメントが大事なのかなと思いました。人には怒られたくないという言葉を入れて「ほめる」をもっと増やしたいと思います。

メンタルが大事なのかなと思いました。人には怒られたくないという言葉を入れて「ほめる」をもっと増やしたいと思います。

講義3 「精神保健福祉相談の基本」

このプログラムでは、関西青少年サナトリュームの佐川さんが進行役として、訪問看護ステーションミントの池田さん、明石土山病院の榎本さん、ステップアップ二見の内尾さん、あかし保健所の塩入さんと各分野の専門職が登壇。精神障害のある人を支援する上で求められる基本的な姿勢・心構え・支援技術について、具体的な事例を通し、ディスカッション形式でお話いただきました。普段の対応に困ったり、疑問に感じたこと、質疑応答の形で進めていき、記録をしっかりと取る事の大切さ、傾聴や共感など原点に戻る様な事を改めて気付かされる機会にもなり、学ぶことの多い時間となりました。自分の事をよく知る事（自己覚知）や、同じ職場で情報を共有する事の大切さなども指摘され、アンケートでも日々の忙しい業務に流されない様に支援していく大切さを再認識した方が多かったです。

受講者の感想（抜粋）

- ・「訴えを一旦受け止める」「共感する」等の基本は再認識した。慌てずあえて時間をかけること、抱えこまず他の人と情報を共有することが大切。
- ・日々の業務の中で尊敬という事を忘れそうになりますが、今回の研修で懸命に生きているクライアントを尊敬し支援をさせて頂くという事を思い出せてよかったです。
- ・ワーカーが抱えている悩みなど共感できる部分も多く、一人で悩むのではなく、本人のを取りまく支援者との共有が大切であり、本人の強みを活かせるようにしていきたいと思った。

